

レクリエーションのご案内

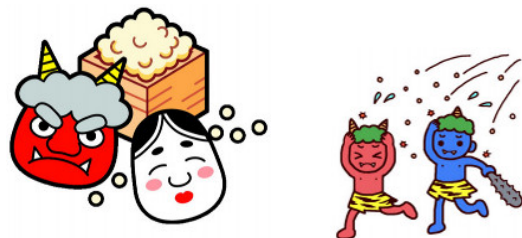
絵画教室

日時：2月18日(金) 14:00～

場所：本部棟 2階 第2会議室

参加費：200円

絵が好きな人は奮ってご参加ください！



法人からのご案内

新年度(平成27年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

こころの健康相談

今月は、こころの健康相談はお休みになります。
次回の予定は未定です。



有償ボランティア(アルバイト)、募集！

当法人では、障がい者の方々へのご理解のあるご家族やボランティアに興味のある方で、麦のゆめの喫茶事業や饅頭配達、農作業など様々な作業をメンバーさんと共にしてくれるボランティアの方を募集しています。時給730円、短時間からでも可です。

NPO
法人

山脈ニュース

2015年
2月号

高崎市立吉井中央中学校の職業講話をしてきました！

1月22日(木)、高崎市吉井中央中学校の総合的学習「キャリア教育」の「職業しらべ」という授業で、講演を頼まれ、中学1年生を相手に「福祉の仕事の魅力」を40分程、お話をしてきました。

中学生を相手にどんな話をしたらいいのか半月ほど悩みましたが、日頃から仕事を通じて障がい者の方々と関わる中で一番に感じている次の3点を伝えたいと思い、パワーポイントなどを使って話をしてきました。正直、難しい話もありどこまで伝わったかは不安でしたが、大変貴重な体験をさせて頂きました。大人でも子供でも想いを伝えることの難しさを学びました。講演依頼を頂きました先生方に感謝します。

生徒さん達に伝えたかったこと！

1. 心の病気は、風邪を引くように誰もがかかる身近な病気
2. 障がいはその人の生まれ持った個性。短所でもあり、長所でもある。
だから、その長所を生かせば素晴らしい才能がある。
3. 福祉の仕事は、様々な困難を抱えた人と深く関わる大変な仕事。
だけど、人の役に立ち、とても生きがいややりがいを感じられる仕事。



吉岡町保護司会様、吉岡町更生保護女性会様より施設慰問を受けました

昨年12月16日(火)、吉岡町保護司会様、吉岡町更生保護女性会様の施設慰問を受け、利用者さんにお菓子の寄贈、そして、慰問金を頂戴しました。こうした地域の方々の御理解と御協力を得て、当法人の施設もこの10年間で大きく成長させて頂きました。誠にありがとうございます。

これからも地域の障がい者の方々が生き生きと生活できるよう支援をして行きたいと思います。



法人の最新情報は下記のホームページでご覧になれます！

発行

特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：群馬県北群馬郡吉岡町大字南下983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：yamanami@violet.plala.or.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営施設：就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」

グループホーム ハーモニーやまなみ1号・2号・3号・4号・5号

(文責：笹澤賢一)

平成26年度関東社会就労センター協議会の研修に参加！

テーマは、人材確保、人材教育、研修会 「採用勝ち組になるための法則」

1月27日(火)、私は東京都港区の日本財団ビルで開催された関東社会就労センター協議会主催の研修会に参加してきました。テーマは、人材の確保と人材教育です。介護も含め、福祉業界は3Kと呼ばれる業界にも属し、景気が回復してくると人材確保が難しく、どこの施設も人材確保に苦労しています。特に、近年はアベノミクスの効果により、一部の業界は景気回復の兆しがあり、職員募集をしても中々、求職者が集まらない傾向にあります。まさに今は、福祉現場では売り手市場であり、求職者が働き甲斐を求め、魅力のある施設を選ぶ時代です。

そうした中、如何に働く職員にとって魅力ある施設であるかを伝える手法などを学びました。

特に印象的な言葉は、法人の理念を明確化し共感した職員の離職は少なく、そのためには理念が法人の活動の具体的な活動に結びついているかが重要だということ。また、人材には、「人材」、「人在」、「人財」があるということ。通常、「人材」の一部にはもともと専門的な技術を持っている人、技術はなくても意欲が高い人がいて、これらの人は、勝手に育つ力があり、いずれ施設になくてはならない「人財」になります。しかし、そうした優秀な「人材」は全体の一部であり、その多くの「人材」は、普通の「人材」です。しかし、しっかりとした教育のシステムで指導することにより「人財」に育てることが可能だということです。そして、その「人材」の存在が施設にとって害を及ぼす「人罪」にならない教育システムが必要だと感じました。

そして、この研修で働く人にとっても、利用する人にとっても魅力ある施設にするために、明日から実践して欲しい7つのことを学んできました。

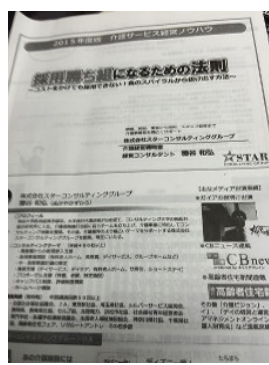
1. 理念を明確にする(如何にして、利用者に貢献するのか)
2. どんな職員に集まってほしいかターゲットを明確する(どんな人をパートナーにしたいか)
3. 採用活動のひとつひとつを丁寧に実行する。
4. 家業から企業への脱却(個人経営から組織経営へ)
5. 経験と勘を伝承する職人的教育からの脱却(教育システムの確立)
6. 評価制度は教育目的で活用する(人事考課制度ではなく、キャリアパス制度の導入)
7. 72時間ルール(学んだら、何かアクションを72時間つまり3日以内起こす)

今の法人運営を思うと、まさに何かできることからアクションを起こさなければと感じさせる研修でした。

ちなみ、日本財団ビルの一回には障害者の方々が働くパン屋さん「スワンペーカリー」が入っていましたので、昼食にパンとコーヒーを戴いてきました。とても美味しかったです。



日本財団ビル



研修のテキスト



日本財団ビル1階のスワンペーカリー



頂いたパンとコーヒー

平成26年度特定非営利活動法人山脈「大忘年会」開催！

平成26年12月30日(火)、毎年恒例となりました特定非営利活動法人山脈の大忘年会が開催されました。毎年、利用者さんの中から有志が集まり忘年会実行委員会を作り、楽しい忘年会を演出してくれます。今年は、紅白歌合戦、ビンゴゲーム、バンド演奏、ソーラン踊り等で大いに盛り上がりました。

会場は、今年も渋谷市にあるホワイトパークさんをお借りしました。利用者さん、役職員、ボランティアの方々を含めると総勢50名余りが参加しますので、年々、会場が大きくなり盛大な忘年会になります。

毎年、一年を締めくく一大イベントです。今年の年末もまたこんなに盛り上がる忘年会が開催できるといいですね。実行委員会の皆さんに期待します。

